

## FD(Faculty Development)活動の積極的な推進

< 2017年度(平成29年度) >

全学的に授業評価アンケートを実施し、指摘された課題をピックアップして授業改善等に取り組みました。また、アンケート集計結果により、先進的な取り組みや、教育効果が高い取り組み等、優れた授業を実施している3名の教員にベスト・ティーチング賞を授与しました。

大学・短期大学の全学でFD・SD研修会を4回開催しました。教職員が延べ367名参加し、教育能力・技能の向上と授業改善に向けた取り組みを実施しました。

### ■FD研修会

#### 【大学・短期大学合同】

- (1) 「障害者差別解消法に基づく大学での障害者支援のあり方について」  
講師：山崎 順子 氏（東京都発達障害者支援センター長）
- (2) 「大学における商標の活用」  
講師：高原 千鶴子 氏（弁理士）
- (3) 「3つのポリシーに基づく教育改革と内部質保証について」  
講師：松島 照彦 教授（食生活科学科・学長補佐）  
成田 秀夫 氏（河合塾 教育イノベーション本部 研究開発職）
- (4) EM（エンrollmentマネジメント）について  
講師：谷内 篤博 教授（EM担当理事・人間社会学部長）  
莊司 伸一 部長（学務部）

#### 【短期大学】

- (1) 「高等学校進路指導から見た高大接続」  
講師：千葉 吉裕 氏（日本進路指導協会理事・調査部長）
- (2) 「主体性開発メソッド「タクナル」体験ワークショップ」  
講師：株式会社リアセック キャリア総合研究所

< 2016年度(平成28年度) >

全学的に授業評価アンケートを実施し、授業改善に取り組みました。また、アンケートの集計結果により、先進的な取組や、教育効果が高い取り組み等、優れた授業を実施している教員に、「ベスト・ティーチング賞」を授与しました。

また、3つのポリシーの見直しに関連して、FD研修会も開催しました。更に、平成27(2015)年度に引き続きアクティブラーニングの積極的な導入を進め、平成29年度開講科目について、学長名で担当教員にアクティブラーニング実施の依頼を行いました。大学では、PBL等、問題解決型の授業について、学生が毎年継続的に履修できるように、平成30年度以降から必修又は選択必修化とする方針としました。

### ■FD研修会

#### 【大学・短期大学合同】

- 内容：①学修ルーブリックとは、作成の意義及び狙い  
②本学が作成する学修ルーブリック（全学DP版）について  
③他大学における運用について

④科目ごとの学修ルーブリック

⑤意見交換

講師：松村 直樹 氏（株式会社リアセック代表取締役 CEO）

**【短期大学】**

テーマ： ①短期大学部各ユニットの活動報告

②短期大学部学生のデータ分析報告

< 2015年度（平成27年度） >

大学・短期大学部ともに、全学・学部単位で組織的なFD研修会を開催し、今年度は特に「アクティブ・ラーニング」をテーマに、教育能力・技能の向上に努め、授業評価アンケートの実施と授業改善報告書を活用しました。

前期、後期それぞれに実施した授業評価アンケートの結果、学生の評価が高い教員を各期3名ずつ選考し、「ベストティーチング賞」を授与しました。

**■FD研修会**

**【大学・短期大学合同】**

講演：アクティブラーニングの概要と手法を理解する

講師：松下 佳代 氏（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）

**【人間社会学部】**

○授業見学 ①フューチャースキル実践 担当：松下慶太先生 時間：火曜4時間目

②経済学概論 担当：壘昭吉先生 時間：火曜1時間目

○その他 「社会福祉学・社会学・統計学グループ」の対話集会

公益社団法人私立大学情報教育協会との連携。

担当：竹内光悦先生

< 2014年度（平成26年度） >

従来大学全体で実施してきたFD研修等を、平成26年度から学部ごとに実施することとし、次のとおり学部に適した課題による研修を実施し、授業改善に資する活発な討議を行いました。

**【文学部】**

講演：都市型の社会貢献・地域連携について

講師：折島正司氏（青山学院大学文学部教授）

**【生活科学部】**

演題：E-ラーニングとアクティブラーニング

講師：犬塚潤一郎教授（現代生活学科）

**【人間社会学部】**

内容1：マナバとタブレットを使った授業

報告：竹内光悦准教授（人間社会学科）

内容2：アクティブラーニングの実践

報告：松下慶太准教授（人間社会学科）

**【短期大学部】**

テーマ：「学習支援ソフト「manaba」は本当に便利なのか」

講師：大倉恭輔准教授（短期大学部教育研究センター）

< 2013年度（平成25年度） >

【大学】平成25年度は、FD研修会を下記のとおり実施し、教員の資質向上、授業改善に向けて取り組みました。

(1) 第1回 平成25年10月10日（木） 31名参加（大短教員25名、職員6名）

「知的財産権の取り扱いについて」黒瀬昭博氏

(2) 第2回 平成25年12月15日（木） 41名参加（大短教員35名、職員6名）

「実践スタンダード科目の評価・点検について」

【短期大学】第1回FD研修会は、大学と共催で、知的財産権の取り扱いについて講演会を実施しました。

第2回は、短期大学キャリア関連科目について、キャリアセンターとの連携を図るための懇談会を実施しました。（23名参加（教員17名、職員6名））

< 2012年度（平成24年度） >

【大学】FD研修会を6月21日に「GPA制度の活用と課題」をテーマに開催し、52名（教員45名、職員7名）が参加しました。これは、平成23年度から全学的なGPA制度の導入を行っている本学において、GPAの実質化に向けて研鑽を積むことを目的としたものです。

また、10年以上継続実施してきた「学生による授業評価アンケート」は、今年度は、実践スタンダード科目（実践入門セミナー及び実践キャリアプランニング）に絞って悉皆調査を行いました。他の授業科目においては、教員が授業内アンケートやリアクションペーパーの方法により、学生の意見や要望を汲み取って授業内でフィードバックすることとしました。また、その結果については、「授業改善報告書」にまとめて、次年度にWeb等での公開をする予定です。

【短期大学】FD研修会として「各学科のディプロマポリシー報告」をテーマに行いました。各学科の学位授与の方針について、表現の統一を図りホームページで公表を行いました。

< 2011年度（平成23年度） >

【大学】平成16年度から実施している学生による授業評価アンケートについて、報告書にまとめて図書館に設置し、アンケート結果を学生にフィードバックしました。大学・短期大学合同のFD研修会は、平成24年3月1日に同志社大学の圓月勝博先生（日本私立大学連盟教育研究委員会FD推進ワークショップ運営委員会委員長）による講演「授業評価から教育の質保証へ」を実施しました。

【短期大学】前期・後期の各期末に学生による授業評価アンケート、学生アンケート結果に基づく教員アンケートを「報告書」にまとめ、短期大学全教員に配布しました。短期大学教員対象のFD講習会として、実践スタンダード科目「実践キャリアプランニング」担当教員が講師となって授業研究の講演を行い意見交換をしました。

< 2010年度（平成22年度） >

【大学】授業評価について再検討を行い、評価実施に際しては評価の公表を視野に入れた対応を検討しました。また、学内におけるFD活動については、初年次教育、キャリア教育を中心とした対応の推進を図り、2010年10月14日、11月18日、12月2日に研修会を開催しました。

【短期大学】前期末に学生による授業評価アンケートを実施しました。学生の授業評価結果を各教員がどのように受け止め、授業改善に取り組むかについてのアンケートを実施し、報告書としてまとめました。後期末にも学生による授業評価アンケートを実施し、報告書を作成しました。また、授業改善の参考となるように大学教育研究センターと短期大学教育研究センターが連携して、FD研修会を実施しました。

< 2009年度（平成21年度） >

大学においてはFD推進委員会、短期大学においては自己点検評価委員会が中心となり、教育内容及び授業方法の改善に取り組みました。大学（FD推進委員会）・短期大学（自己点検評価委員会）共同で実践入門セミナーを題材としたFD研修会を開催しました。

学生による授業評価アンケートについては、大学・短期大学ともに平成21年度から開始した共通教育科目において、特に実践スタンダード科目に関して特別に評価票を作成し、設置した科目の評価を試みました。また、その他の共通教育科目、専門教育科目については、評価票に修正を加え全授業科目を対象に実施しました。

以 上